

# 経済産業省 北海道産業保安監督部主催 平成 28 年度ボイラー・タービン主任技術者 会議での講演



株式会社  
ウェルディングアロイズ・ジャパン

〒346-0101  
埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼24番1

電話番号：0480-31-8681(代)  
FAX番号：0480-31-8682

http://www.waj.co.jp

WAJ5G874



講演会場

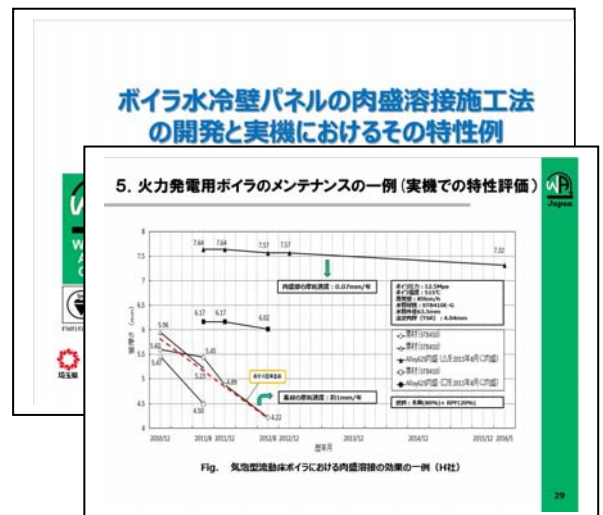
平成 28 年 12 月 1 日、旭川トヨヨーホテルにて経済産業省 北海道産業保安監督部主催による平成 28 年度ボイラー・タービン主任技術者会議が開催され、管内火力発電所ボイラー・タービン主任技術者約 90 名の方が出席されました。

経済産業省殿より「火力発電に係る安全規制の最近の動向について」「管内発電所の事故状況等について」説明が行われた後、当社よりボイラーが直面している課題解決に向けた取り組みについて講演を依頼され、発表しました。

## 1. 管内火力発電所の事故状況等について

管内 135 基のボイラーのうち、15 年以上経過しているボイラーは 98 基の 73%で、30 年以上経過しているボイラーは 71 基の 53%をしめています。

平成 16 年度以降、事故の 87%がボイラーで発生しており、そのうち流動層ボイラーは約 43%を占めています。ボイラーの事故発生率平均が約 6%に対して流動層ボイラーは 57%と約 10 倍高い状況となっています。このような事故の主な原因の一つに破孔が挙げられます。



技術講演資料



講演状況

## 2. 当社による講演

当社より「ボイラー水冷壁パネルの肉盛溶接施工法の開発と実機におけるその特性例」について講演させて頂きました。当社が展開している耐食・耐摩耗肉盛溶接により実機の発電設備において腐食は 1/10 以下に、浸食は 1/4 以下に抑えられることを説明しました。事故の原因である破孔現象に対して有望な防止策になるものと確信しています。

